

令和2・3年度活動方針

公益社団法人 新潟県建築士会
会 長 田中 隆司

くしくも2020年は、全世界にとって予想もしなかった、目に見えぬウィルスとの闘いの年でもありましたが、私たちはいつまでも自粛することだけを最良の安全策だと捉えて、じっと耐えている訳にはいきません。コロナ禍の中でも、新しい生活様式を念頭に置いてどういった活動ができるのか、また、これまで当たり前としてきたことの中にも、見直すべきことが多く存在することを再認識し、今後変えるべきところは、どう変えていくかを熟慮した上で行動を起こしていかなければなりません。

新潟県建築士会としては、この度およそ1年半にわたり検討を重ねてきた「会費の値上げ」と「事務事業および委員会制度の見直し」が承認され、いよいよ新たな体制の活動が始まります。

私たちは、職種や立場・価値観等の違う者たちが自発的に、平等に活動していく多様性に富んだ組織です。新しい体制が始まることを機に、「自己研鑽と社会貢献を目指す」という会の目的を、会員一人ひとりが改めて自覚し、「自分自身のやりがいと喜び」が感じられるような活動を行っていきましょう。

1. これまでの前年踏襲、既成概念に縛られない発想の基に、事業の企画・運営・活動を目指す
2. 全会員ができる限り、タイムリーで重要な情報を平等に得られるような取り組みを行う
3. 労力的無駄、時間的無駄、金銭的無駄をなくすべく、洗練された合理化を検討・実施する
4. 会員一人ひとりが、あくまでも公益法人の一員であることを自覚し、自分の立場で社会にどう貢献できるか、どうすれば自分が社会から必要とされる人材になれるかを意識することにより、結果的に「建築士会会員」としてのステイタスを確立していくことを目指す
5. 人としての優しさ・思いやり・感謝の気持ちを大切にし、会員同士の絆を深め合って、互いに利益を享受し合うような活動を目指す